

公民館だより

9月号から、公民館クラブを紹介しています。
今月号は、2つの教室を紹介いたします。いずれも興味のある方は問い合わせください。待っています。

書道教室

第1・3水曜日
10:00~12:00
会費 月 2,000円
講師 穴南豊子



書道教室は、毎月出されている大分県書道教育研究会の「大分県習字」に作品を提出しています。公民館では、月に二回の教室ですが、学級生は楷書・行書・草書硬書・手紙文など多くの文字の基礎を練習します。先生からの指導を受けている間、星辰書展や県の文化芸術の書道展に参加するなど、質の高い学級生ばかりですが、初心者に

も十分対応してください」ということです。文字に接しない日はないのですが、書くことはちよつとと思ついる皆さん、書道に興味のある皆さんの参加をお待ちしています。



ゲートボール大会開催

9月11日（土）8時から犬飼町スポーツ振興会長杯ゲートボール大会が開催されました。

出場者は、球の行方に頭を働かせ、味方の球をゲートにくぐらせ有利に導きつつ、相手の球は場外へ押し出します。

勝敗は？審判と記録者の結果発表に一喜一憂です。

楽しい時間を過ごすことができました。



回覧

10月

☎578-1281



コーラス教室

第2・4金曜日
10:30~12:00
会費 月 2,000円
講師 古野千鶴子



今まで、発表会に出場したり各施設を訪問するなど年間を通じて積極的な活動をしていましたが、コロナ過で出ていく機会が減ってしまいました。皆さんと触れ合う機会を心待ちに、練習に励んでいるところです。

現在は連ドラ主題歌の「星影のエール」と松田聖子さんが歌つた「瑠璃色の地球」を勉強しています。



毎回美しい歌声が流れてきます。

- ・テスカトリポカ
(第165回
直木賞受賞)
佐藤 究



メキシコで麻薬

密売組織の抗争があり、組織を牛耳るカサソラ四兄弟のうち三人は殺された。生き残った三男のバルミロは、追手から逃れて海を渡りインドネシアのジャカルタに潜伏、その地の裏社会で麻薬により身を持ち崩した日本人医師・末永と出会う。バルミロと末永は日本に渡り、川崎でならず者たちを集めて「心臓密売」ビジネスを立ち上げる。

一方、麻薬組織から逃れて日本にやってきたメキシコ人の母と日本人の父の間に生まれた少年コシモは公的な教育をほとんど受けないまま育ち、重大事件を起こして少年院へと送られる。やがて、アステカの神々に導かれるように、バルミロとコシモは邂逅する。

・52 ヘルツのクジラたち

町田 その子

自分の人生を家族に搾取してきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる——。

・もういちど

畠中 恵

酔っ払った龍神たちが、隅田川の水をかき回して、長崎屋の舟をひっくり返したってえ！

水に落ちた若だんなは200年ぶりの天の星の代替わりに巻き込まれて……。
「しやばけ」シリーズ

第20弾!!



今年度は、コロナ対策交付金と
して、各公民館の図書購入費が格
段に増えています。
おかげさまで、毎月新しい本が
購入出来ています。皆さま、満足
してくださっていますか。
さて、犬飼町スポーツ振興会
は、十月三十一日(日)地域对抗
グラウンドゴルフ大会を開催し
ます。
商品・参加賞を用意して皆さん
の参加を募ります。
羽田野
で身体を動かしましよう。
グラウンド
を用意して皆さん
の参加を募ります。



**今月も新しい本が入荷いたしました。
どうぞ、ご利用ください。
リクエストもお知らせください。ご希望に副いたい思っています。**



・彼岸花が咲く島

(第165回芥川賞受賞)

李琴峰 (り・ことみ)

砂浜に少女が倒れていた。少女の周りには赤一面の彼岸花が咲いている。少を最初に見つけたのは、彼岸花を探りに来た游娜(ヨナ)だった。彼女は少女に「ノロ?」と聞いた。ノロとは、游娜が住む島の歴史を伝承する女性のことだ。

少女は島外のどこから流れ着いており、過去の記憶が曖昧だ。少女は游娜により「宇実(ウミ)」と名付けられた。宇実は游娜や周りの島民と接する内に、島の実態を知っていく。

彼岸花が
咲く島



・霧をはらう

森井 備介

病院で起きた点滴死傷事件。

入院中の4人の幼い子どもたちにインスリンが混入され、2人が殺された。

逮捕されたのは、生き残った女児の母親。人権派の大物弁護士らと共に、若手弁護士の伊豆原は勝算のない裁判に挑む！

・ガラスの塔の殺人

知念 実希人

雪深き森で、燐然と輝く、硝子の塔。

地上11階、地下1階、唯一無二の美しく巨大な尖塔だ。

ミステリを愛する大富豪の呼びかけで、刑事、靈能力者、小説家、料理人など、一癖も二癖もあるゲストたちが招かれた。この館で次々と惨劇が起こる。

館の主人が毒殺され、ダイニングでは火事が起き血塗れの遺体が。さらに、血文字で記された十三年前の事件……。

謎を追うのは名探偵・碧月夜と医師・一条遊馬。散りばめられた伏線、読者への挑戦状、圧倒的リーダビリティ、そして、驚愕のラスト。

編集後記